

柿の実

愛(|)がいっぱい | J | R | 小

’22井尻小学校便り

No.2

2022.5.23発行

甲州市立井尻小



気付き
考え
実行する



学校教育目標

「豊かな心をもち自ら
切り拓く子どもの育成」

ゴールデンウィークが明けても

薰風香る季節となりました。ゴールデンウィークが過ぎ、県内でも外出する家族連れを多く見かけるようになりました。休日の外出先はどこも駐車場がいっぱいなどということも増えてきたのではないでしょうか。新型コロナの影響にも徐々に慣れっこになってきて、1年前には100人越えに恐怖心すら感じたのに、今では数値にも慣れっこになってきて「100人!?今日ははずいぶん少ないな。」などと感じてしまう自分に驚かされています。数値になってしまっているだけで終息の兆しは見えてはいません。ゴールデンウィーク中には、世間と学校との間隔にすれがあることを感じました。学校は、大事な子供を預かっている場です。子供にはワクチンも普及していないことを考えると、少し臆病なくらいの対応でよいのではないかと思います。依然高止まりであることをしっかりと認識し、学校、地域においては引き続き予防対策をしていく事が必要です。これからも校内で感染が起きないようにしっかりと対策を取りながら、可能な学校教育活動を実施し、子供たちの「学びの保障」をしていきたいと思います。さらに、学校が子供たちにとって安心・安全な場であるよう精一杯努力していきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、休業中のこれまでのご協力に感謝いたしますとともに、今後とも、子供たちの感染リスクが少しでも軽減されますよう、ご理解・ご協力、よろしくお願ひいたします。

学校では健康チェックカードを引き続きお願いしています。朝登校時、校舎に入る前に児童玄関でチェックを受けます。しかし時々カードを忘れたり、未記入だったりして健康状態の判断に戸惑うことがあります。新型コロナ感染症蔓延防止のためなので、どうかご理解いただいて児童に毎日健康チェックに関しての声掛け（低学年においてはご家庭主導で）をお願いしたいと思います。

基本となることは次の3つで変化ありません。ご家庭・地域でも引き続きよろしくお願ひいたします。日々状況の変化もございます。学校での対応につきましても、細部につきましては、状況に合わせ変更になる場合もございます。ご理解、ご協力、よろしくお願ひいたします。

- ① 手洗い
- ② マスクの着用
- ③ 3つの密（密閉、密集、密接）の回避

- | | | |
|---------------|------------|------------------------|
| 井尻小では… | 「い」 | … 1m以上はなれよう！（身体的距離の確保） |
| | 「じ」 | … 時間をかけて手を洗おう！（手洗いの励行） |
| | 「り」 | … 利用しようマスク！（マスクの装着） |

3年生自転車教室

5月11日（水）に3年生の自転車教室がありました。この日は3年生がそれぞれ自慢の自転車を学校に用意します。どの児童も自慢の愛車を用意して張り切っていました。市の交通安全指導員の方から、自転車に乗るルールを学ぶときも真剣な表情で聞いていました。実技訓練では、まだまだふらふらした乗り方の児童も大勢いました。3年生も公道デビューする児童がいると思いますが、井戸の道は昔から狭くクネクネしています。見通しの悪い交差点もたくさんあります。十分気を付けて安全に乗れるようご家庭でのご指導と地域の皆様の温かい見守りをお願いしました。

春の校外学習

5月12日（木）に1, 2年生と3, 4年生の遠足がありました。特に1年生は初めての遠足です。「甲府市立動物園」と「金川の森」へ行きました。私も同行しましたが、天気が心配される中ではありました。結局雨に降られることはほとんどなく、動物と一方的にコミュニケーションを図ろうとする姿や、アスレチック遊具に挑戦する姿は本当に楽しそうでした。3, 4年生は「市川三郷町商工会 六郷支所」「風土記の丘」「山梨県立考古博物館」に行きました。六郷支所では伝統産業の「はんこ」づくりに挑戦して、思い思いのはんこを作るなど、やはり3, 4年生もとても楽しい遠足となったようです。



陸上記録会

5月17日（火）に塩山総合グランドで東山地区陸上記録会が行われました。コロナ対策も十分にとったうえで子供たちは参加しました。学校でも体育の時間や放課後の強化練習を行い、子供たちはそれぞれの種目において力を伸ばしてきたところです。

当日の朝方は天気も心配になりましたが、いざ始まってみると一日中曇りで運動するにはちょうど良い天候となりました。そのような中で各校注目の「400メートルリレー」から始まりました。それぞれの学校代表が、大勢の友達が見守る中で真剣に力強く走っていました。その後児童たちは自分の種目がアナウンスされるのを待ち、全力で記録を伸ばすことに挑戦してきました。学校に帰ってきた6年生の児童たちは、力を出し切ったと大変満足そうな顔でした。

